

ながせひでき

永瀬秀樹の歩く眼

第13号

資産活用

旧丸井裏用地の活用について

川口駅周辺は、「川口駅周辺市街地整備構想」のもと、美しい都市景観と、川口市の表玄関にふさわしい機能を考えた整備をすすめ、日本有数の施設に囲まれた川口の中心部をつくってきました。その川口駅に残された最後の可能性が、東口約2,000坪の旧丸井裏用地です。日本一魅力ある川口駅周辺整備を永瀬秀樹は考えています。

川口市議会で、私は4度目の一般質問をさせていただきました。今号は6回シリーズの第4回です。

永瀬秀樹質問の狙い

- 川口駅周辺の整備は、「川口駅周辺市街地整備構想」のもと、
 - ▶川口駅東西地区を一体的に整備。
 - ▶歩行者と自動車の動線分離。
 - ▶交通動線整備と土地高度利用促進。
 - ▶公共施設の整備。など、
 計画的な都市整備が行われ、良好な都市景観の形成と、賑わいある魅力的な川口の都心部を形成。日本一魅力ある玄関口を目指しているといっても過言ではありません。
- その魅力づくりに残された資産が、川口駅東口北側線路沿いの約2,000坪の土地。未利用の「市街地再開発事業

埼玉県の玄関口川口駅。西口には、日本一の稼働率を誇るリアアメインホールと、広大な緑の公園があり、東口には、多目的に活用ができるキュポ・ラ広場や、日本一駅に近い図書館が。川口市の表玄関の整備で最後に残された可能性が「旧丸井裏用地」です。

一般質問でここにスポットを当てました。





等用地」。これが旧丸井裏用地です。

●平成8年と9年に、公共公益施設用地として、また市街地再開発事業に資するものとして、川口市土地開発公社が国鉄清算事業団と日本貨物鉄道それぞれから購入。以来16年間、様々な事情で本格利用には至らず、今日を迎えました。

●現在は、川口都市開発株式会社に貸し出され、駐車場として暫定利用が続いていることは、皆さんがよくご存知のとおりです。

●暫定利用が長期化する中、国による第3セクターの5年間の集中処理期間

は今年度末で終了。埼玉県からは土地開発公社の経営健全化対策が示されるなど、諸般の事情も大きく変化しています。

●人口減少時代に突入した我が国において、川口の都市未来予想図では、中心市街地の活性化をすすめ、魅力あるコンパクトシティの建設が望まれています。

●川口駅周辺に残された貴重な未利用地として、市民福祉の向上に加え、市の中心部の発展にも大きく影響を与える旧丸井裏用地。この利活用方針について、**川口市の考えお聞きしました。**

1 購入理由について

永瀬秀樹の質問概要

●購入時の理由と背景はどのようなものだったのか。**お聞きしました。**

川口市の答弁

●用地は、川口駅周辺の活性化や賑わいの創出を図ることを目的に、川口市土地開発公社が購入したものです。

2 現在の状況について

永瀬秀樹の質問概要

現在の土地の価値、簿価額、年間賃貸料、年間売上高、利用台数、**についてお聞きしました。**

川口市の答弁

◇購入時の価格は、

17億8,836万3,820円

◇平成24年度末時点の簿価額は、

21億9,653万631円

◇平成24年度の年間賃貸料は、

8,527万5,504円

◇平均年間売上高は、

1億2千万円前後

◇年間利用台数は、

160,000台前後

駅隣接の駐車場として、有効に活用されていると、**答弁を頂きました。**

3 今後の活用方針について

永瀬秀樹の質問概要

●平成19年の事後調査、20年の特別委員会報告後も、活用に向けた動きは進んでいません。結果、長期暫定利用が続き、その間、社会経済情勢は大きく変化しています。利活用の方針についても、改めて検討をすべきと考えます。

●今後どのようにするか、市の考えをお聞きします。さらに、今後のこの用地の活用方針を検討する上で、市民が何を求めているか、市民の福祉向上にむけ、改めて市民ニーズを把握することを**求めました。**

川口市の答弁

●この土地は、駅東口地区に残された最後の貴重な空間であり、川口市の都市計画審議会からも今後の土地利用について建議書が提出されています。

●隣接するJR川口駅舎の建替えや関係団体の動向を見据えつつ、市民からの要望等を把握することも含め、公共的、公益的視点に立ち、今後とも土地の利活用について検討して参ります。

●なお、今回永瀬議員から提案いただいた市民の要望等の把握は、重要と考えています。今後、市民アンケートの実施や意見交換会の開催など、住民意向を把握する手法について、検討して参ります。**との答弁を引き出しました。**

永瀬秀樹の全力投球

生い立ちからサラリーマン時代そして川口市議まで

生まれ

昭和34年8月 川口市生まれ
実家の祖父は、市議会議長を務めた新藤勝衛
母方の祖父は、陸軍大将 栗林忠道
衆議院議員 新藤義孝は実兄
平成4年 元川口市長 永瀬洋治の養子となり、
永瀬秀樹と改名

家族

母、妻の3人家族

学歴

早稲田大学卒

職歴等

● 早大卒業後、
(株)JTB(旧 日本交通公社)に入社
旅行営業、MICE営業、観光地域振興、広報、関連
会社の経営等、幅広い業務を経験する。
● 世界各国をめぐり豊かな国際感覚を持つ。
● 転勤により、約2年間、沖縄県那覇市に在住。
● 全国各地の観光振興アドバイザー、旅行、イベ
ント業界の各種委員を歴任。観光行政関連の会議
等を通じ、観光立国政策への提言を行なう。
● 地方自治体、各地観光協会での講師や、
シンポジウムのパネリストを務め、観光振
興による地域活性化の一翼を担った。
平成23年、民間で培った経験と感性
を市政に活かし、より良いまちづくり
に全力で取り組むことを決意し、川
口市議会議員選挙に立候補し、当選。

現在1期目。

公職

川口市議会 福祉・環境常任委員会 副委員長
川口市議会 地域活性化・環境対策特別委
員会 委員
川口市労政協議会 委員
川口市青少年育成委委員

団体役職

川口市空手道連盟 名誉顧問
西川口タイガース 顧問
川口商工会議所 中央・幸栄ブロック会
常任相談役 等、多数



長所

明るく朗らか。正義感、責任感が強く、粘り強い。

短所

のんびり屋。大まか。

好きな食べ物

お肉料理とウナギ、ラーメン

苦手な食べ物

海老アレルギー。食べると無口になる。

読書履歴

歴史書、漫画、イギリス児童文学、ミステリ、SFを
経て日本文学に。社会人になってからは、都市論、
建築関連書物が大好き

好きな作家

宮沢賢治、アーサーランサム、CSルイス、萩尾望
都、フランクハーバート、ブラッドベリ、中井英夫、
山本周五郎、プラトン、司馬遼太郎、森嶋通夫、最
近読んで面白かったのは、乾くるみ、百田尚樹

音楽履歴

ビートルズ、S&G、ボブディランからロッ
クを経てジャズ、クラシック

好きなミュージシャン

U2、ダイドー、コルトレーン、エリックド
ルフィー。最近のお気に入り、ゴティエ
とダフトパンク

好きな画家

ダヴィンチ、ベラスケス、ブラジリエ、ラッ
セン、中島千波

好きな映画監督

黒澤明、黒木和雄、デヴィッド・クローネン
バーグ、リドリースコット、ウディ・アレン

好きなスポーツ

ヨット、ダイビング、相撲、サッカー、
ソフトボール

好きな言葉

足るを知る。常に諸子の先頭に有り。
そう思われるよりは、そうであるべく
常に努めよ。

モットー

みんなで仲良く、楽しく、陽気に
率先垂範